

## 2.本田財団の活動概要

### 主要な事業

科学技術の力を真に人類の幸福と平和に役立てることを目的として、以下の三つの活動を展開

1. 日本最古の国際褒章「本田賞」の授与
2. 国際シンポジウム・懇談会の開催
3. 理工系大学に学ぶアジアの未来の科学者へ「Honda Young Engineer and Scientist's Award=YES奨励賞」を授与

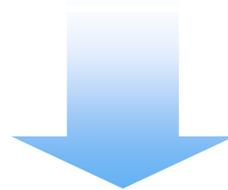


**3. 本田賞**

# 本田賞



エコテクノロジーの観点から世界的視野で  
毎年一件の個人またはグループに対し  
その業績を讃える国際褒章



科学技術に関わる  
新たな価値を生み出したトップランナーの顕彰

本田賞受賞者—多岐に渡る分野・国籍

1980



グナー・ハンベリユース  
理工学／スウェーデン

各国の工学アカデミー間の相互交流に貢献

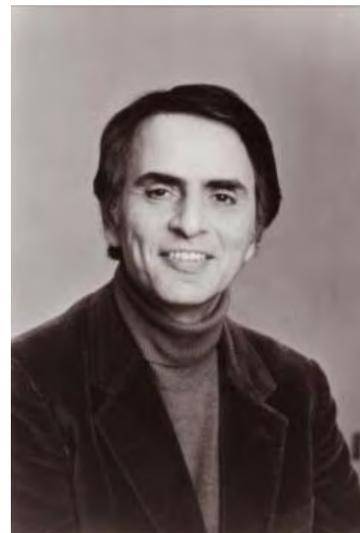
1983



イリヤ・プリコジン  
化学・物理学／ベルギー

「散逸構造論」を構築し、環境問題への国際活動に寄与

1985



カール・E・セーガン  
宇宙物理学／アメリカ

地球を宇宙的な視座で捉え、「核の冬」について警告

1986



西澤 潤一  
電気通信工学／日本

Pinダイオード、静電誘導トランジスタなどを発明

本田賞受賞者—多岐に渡る分野・国籍

1987



ジャン・ドーセ

免疫血液学／フランス

ヒトの組織抗原を発見し、  
臓器移植の道を開く

1990



フライ・オットー

建築学／ドイツ

人間環境と自然との調和  
を備えた軽量建築「膜構  
造建築」の概念を確立

1991



モンコンブ・S・  
スワミナタン

農学・植物遺伝学／  
インド

「緑の革命」を主導

1993



堀越 弘毅

微生物学／日本

海水の汚染処理など、  
微生物の工業的利用  
技術を発展

本田賞受賞者—多岐に渡る分野・国籍

1999



アレクサンドラ・  
コロンハウザー  
化学／スロヴェニア

有害産業廃棄物を管理する  
情報システムを構築

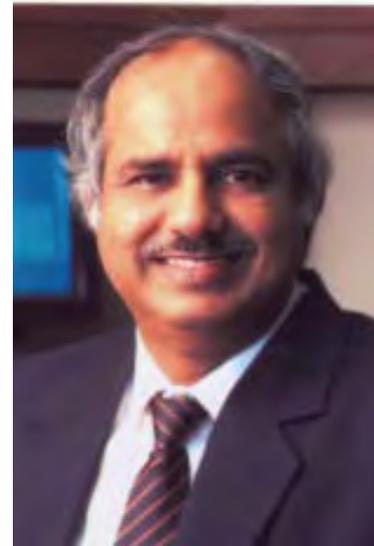
2001



ドナルド・マッケイ  
環境科学／カナダ

化学物質の挙動予測技術「マッケイ・モデル」を  
開発

2005



ラジ・レディ  
ロボット工学  
／アメリカ

コンピュータ科学とロ  
ボット工学の先駆者

2006



リチャード・R・ネルソン  
進化経済学／アメリカ

イノベーション研究。「経済  
変動の進化理論」を確立